

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（みやしょうかわ） 宮・庄川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、宮・庄川森林計画区の飛騨市、高山市及び大野郡白川村に所在する116,102haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、岐阜県飛騨地方の北部に位置し、森林の現況は人工林36%、天然林64%となっており、標高の高い森林ほどブナ、ナラ等の天然林比率が高くなっている。人工林は、カラマツが36%、スギ30%、ヒノキ29%を主体とした森林で県下最大の計画区である。</p> <p>当地域は森林率93%と高い地域であり、林業・林産業が地域の重要な産業であるとともに、中部山岳国立公園を始め、白山国立公園、御嶽山県立自然公園、天生県立自然公園など優れた自然景観を有していることから、白山や御岳自然休養林のレクリエーションの森など、森林浴やスキー、登山等保健休養の場としても広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>当事業では、これらの流域の特性に応じた水源かん養機能・山地災害防止機能・保健文化機能など、森林が持つ公益的機能の高度発揮を図るため、間伐等の森林吸収源対策を積極的に実施するなど、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うものである。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">531 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">7,022 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">2.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">3.1 km</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">総事業費 2,763,221 千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	531 ha			保育面積	7,022 ha		路網整備	開設延長	2.5 km			改良延長	3.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	531 ha																
		保育面積	7,022 ha																
	路網整備	開設延長	2.5 km																
		改良延長	3.1 km																
費用対効果分析	総 便 益（B）	25,776,740 千円																	
	総 費 用（C）	3,329,010 千円																	
	分析結果（B / C）	7.74																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p style="margin-top: 10px;">新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 中部森林管理局

事業実施地区名: 宮・床川森林計画区(岐阜県)

飛騨森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	5,776,163	
	流域貯水便益	3,260,241	
	水質浄化便益	4,598,543	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,505,408	
環境保全便益	炭素固定便益	1,340,603	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	339,147	
	木材利用増進便益	19,558	
	木材生産確保・増進便益	2,634,405	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	43,260	
	森林管理等経費縮減便益	1,298	
	森林整備促進便益	7,051	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	118,522	
維持管理費縮減便益		132,541	
総便益(B)		25,776,740	
総費用(C)		3,329,010	
費用便益比		7.74	